

事務事業名		高規格幹線道路整備促進期成同盟会ほか負担金支出事務				☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造				事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 不明 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
	施策名	交流基盤の充実					
	基本事業名	幹線道路網の整備					
根拠法令						予算科目 会計 款 項 目 事業 01 08 01 01 04	
所 属	部課名	都市整備部建設課					
	課長名	西山春仁					
	係 名	業務係	電話	0192-27-3111			
	担当者	菅原博幸	内線	320			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 各期成同盟会等に会費、事業費割合負担金を支出する。 各期成同盟会等は道路等が速やかにかつ合理的、効率的な方法で整備されるような活動を展開し、道路等の建設の促進を図っている。大船渡市からは、加盟している同盟会等組織の内、国道397号整備促進期成同盟会等、市長が副会長の職についている組織が行う国・県への要望時に同行している。 ○負担金支出団体一覧(16団体) 日本道路協会、三陸地区国道協議会、全国治水期成同盟会連合会、岩手県道路利用者会議、岩手県治水砂防協会、岩手県防災協会、岩手県河川海岸協会、岩手県高規格幹線道路整備促進期成同盟会、岩手県道路整備促進期成同盟会、国道45号岩手整備促進期成同盟会、国道343号・広域幹線道路整備促進期成同盟会、国道397号整備促進期成同盟会、三陸地域道路整備促進期成同盟会、大船渡・釜石・大槌・山田間三陸縦貫道路整備促進期成同盟会、全国海岸協会、岩手県三陸縦貫自動車道整備促進期成同盟会							
全体計画(※期間限定複数年度のみ)						総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称 単位 ア 期成同盟会等会議出席回数 回 イ 関係機関への要望回数 回 ウ	
前年度実績(前年度に行った主な活動)			
東日本大震災により例年行っていた総会・要望活動が行えなかった。また、被災地への考慮をいただき、多数の団体の会費・負担金が減免となった。			
今年度計画(今年度に計画している主な活動)			
国道45・397・343号整備促進要望等 三陸縦貫自動車道整備促進要望等			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
幹線道路等 市民、市外からの来訪者		名称 単位 カ 負担金支出団体数 団体 キ ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
(幹線道路等)整備される (市民、市外からの来訪者に)短時間で移動してもらう		名称 単位 サ 大船渡市の要望にかなった国道45・397号整備延長 m シ ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
・迅速に快適に、安全に移動できる。			

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	財源内訳	単位						
			千 円						
			千 円						
			千 円						
			千 円						
			千 円	50	344	528	696	696	696
			千 円	50	344	528	696	696	696
			人	1	1	1	1	1	1
			時 間	20	20	20	20	20	20
			千 円	80	80	80	80	80	80
指標	活動指標	対象指標	成果指標	千 円	130	424	608	776	776
				回	0	9	20	10	10
				回	3	9	7	10	10
				回					
				団体	16	16	16	16	16
				団体					
				団体					
				団体					
				m	303.6	303.6	303.6	311.6	311.6
				m					

事務事業ID	0656	事務事業名	高規格幹線道路整備促進期成同盟会ほか負担金支出事務
--------	------	-------	---------------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
開始時期は不明であるが、政策的支援により事業の促進を図るために開始したと思われる。(国・県への要望活動等)			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
東日本大震災を受けて、高規格道路や幹線道路の整備の重要性が増している。 河川、急傾斜等の災害に対する住民の危機意識が高まっている。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
市議会各党派、市内各地域より、国道45・397・343号等の改良整備促進と更なる安全対策、東北横断自動車道アクセス対応工事の促進、主要地方道の改良整備促進、砂防施設等の改善、急傾斜地対策事業の促進、三陸縦貫自動車道の整備促進・早期全線開通など多数の要望が寄せられている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価			
目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 幹線道路等の整備促進のために、国・県への要望活動を行っている各団体へ負担金を支出しているので、快適な都市環境の創造に結びつく。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 地域の振興、他地域との連携・交流を図るため、要望を行っている期成同盟会等の活動は必要なものである。	
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 幹線道路等が整備されることにより、市民や市外からの来訪者の移動時間が整備されるので適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 国・県の限られた予算で、計画的に整備は進められているが、県内・隣県の改良等を要する箇所は依然として多いため、向上の余地はない。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 事業活動を休止してしまえば、必要がないものと判断され、整備等がなされなくなる可能性がある。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がないため、統廃合の余地がない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 各期成同盟会等への負担金は均等割、人口割、前年度の事業費割等により算出されており、削減の余地はないが、繰越金が多い期成同盟会等への負担金については見直すことも踏まえて提案する。 また、構成団体等が同じような期成同盟会は統合についても検討。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) この事業に要する業務時間は年20時間程度であり、現状のまま他の業務をしながら対応するほうが効率的である。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 市民や市外からの来訪者が利用する幹線道路等の整備促進のために、国・県への要望活動をしている期成同盟会等への負担金の支出であるので、公平・公正である。	

事務事業ID	0656	事務事業名	高規格幹線道路整備促進期成同盟会ほか負担金支出事務
--------	------	-------	---------------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	前年度の事業費割に基づく負担金以外は、全体的に減額傾向にあるが、今後とも、それぞれの同盟会組織等の活動を注視していく必要がある。																							
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																						
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 幹線道路等の整備促進のため、要望活動を行っている各種期成同盟会等の活動に対し、今後も活動を支えるため負担金を支出する。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし																								

4 事務事業の2次評価結果

(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	建設課長 西山 春仁

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																								
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																								
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																						
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		地方に必要な幹線道路等の整備のための要望活動を行うための各期成同盟会等の経費を公平に負担するのは妥当である。																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																						
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 幹線道路等の整備のための活動であり、目的達成のため今後も継続した活動が必要である。		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
